



2020年7月31日

各 位

会社名 トーカロ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 三船 法行
 (コード番号 3433 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 樽見 哲男
 電話番号 078-303-3433 (代)

連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月8日に公表しました「2020年3月期決算短信」において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、合理的な業績予想の算定が困難なため、2021年3月期の業績予想及び配当予想を開示しておりませんでした。2020年7月31日開催の取締役会において、業績予想及び配当予想を決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 第2四半期 (累計) 連結業績予想 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	百万円 18,794	百万円 3,348	百万円 3,403	百万円 2,148	円 銭 35.34
当期第2四半期予想 (2021年3月期第2四半期)	18,500	3,300	3,400	2,170	35.69
増減額	△ 294	△ 48	△ 3	21	
増減率 (%)	△ 1.6	△ 1.5	△ 0.1	1.0	

2. 2021年3月期 通期 連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期通期実績 (2020年3月期)	百万円 37,896	百万円 6,550	百万円 6,812	百万円 4,404	円 銭 72.45
当期通期予想 (2021年3月期)	36,500	5,800	6,000	3,880	63.82
増減額	△ 1,396	△ 750	△ 812	△ 524	
増減率 (%)	△ 3.7	△ 11.5	△ 11.9	△ 11.9	

新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は全般的に先行き不透明な状況が継続しております。

半導体・FPD分野では、テレワーク、5G通信、IoT、AI、自動運転などの普及により、中長期的には需要が拡大基調で推移すると予想されるものの、予断を許さない環境にあります。

産業機械、鉄鋼など、半導体以外の分野では、製造業全般の設備投資先送りなどにより、厳しい受注環境が続くものと判断しております。

このような状況のもと、当社グループの2021年3月期の通期連結業績は、売上高365億円(前期比3.7%減)、営業利益58億円(同11.5%減)、経常利益60億円(同11.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益38億8000万円(同11.9%減)を見込んでおります。

3. 配当予想について

	年間配当金			配当性向 (連結)
	第2四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	%
2020年3月期実績	12.50	12.50	25.00	34.5
2021年3月期予想	12.50	12.50	25.00	39.2

当期の年間配当金につきましては、前期と同様、1株当たり25円(中間配当12円50銭、期末配当12円50銭、予想連結配当性向39.2%)とする予定であります。

(注)上記予想の内容は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる可能性があります。

以 上